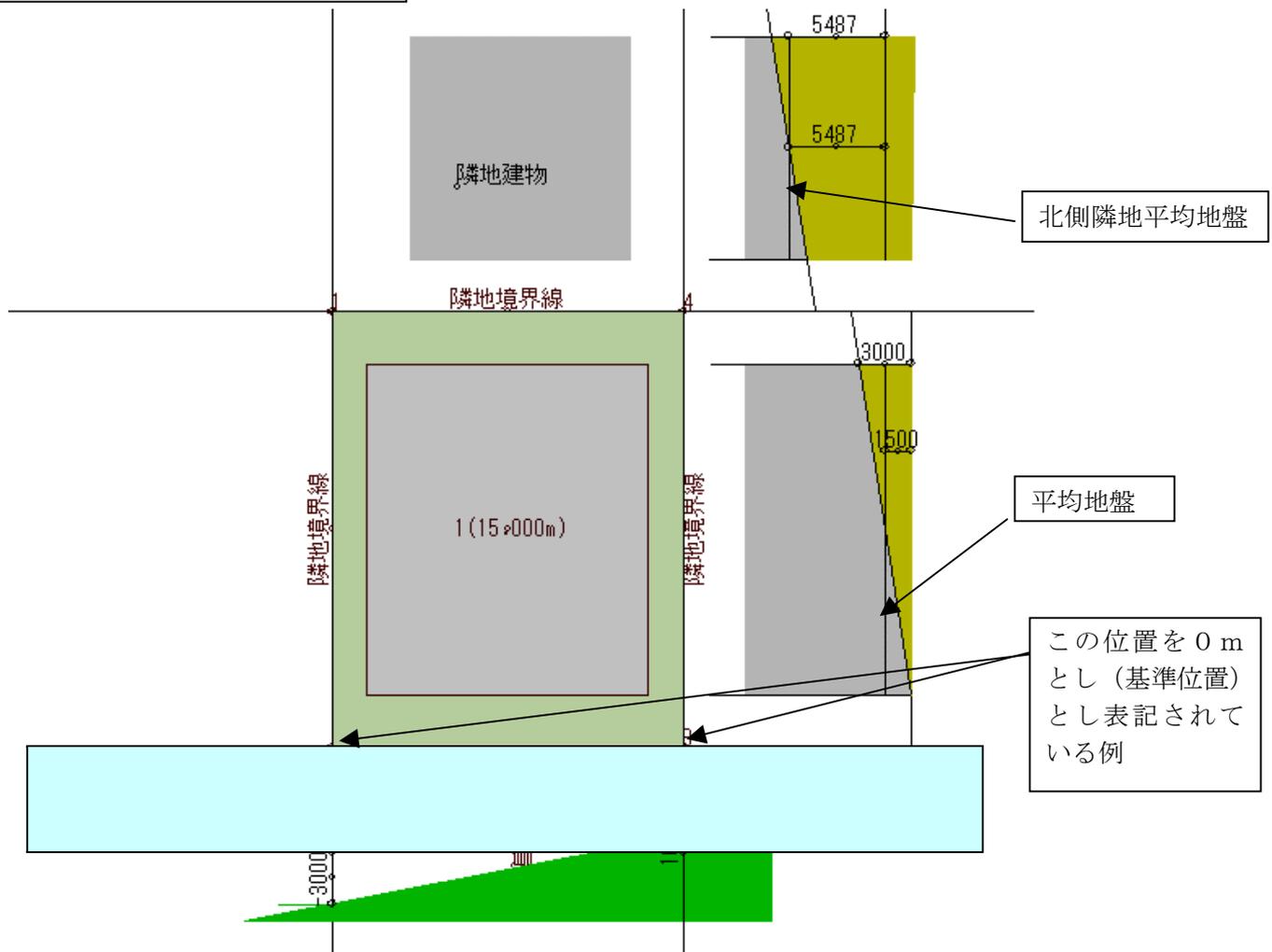


## 傾斜地入力方法

傾斜地のデータ入力方法を敷地内高低差が3m以内の場合、3m以上で地盤面を複数設定する場合の2ケースで解説します。敷地内高低差が3m以上の場合、3m以内毎に地盤設定を行います。その為に平均地盤オプションを使用します。平均地盤オプションを使用すると煩雑な天空率の適合領域も自動生成されます。

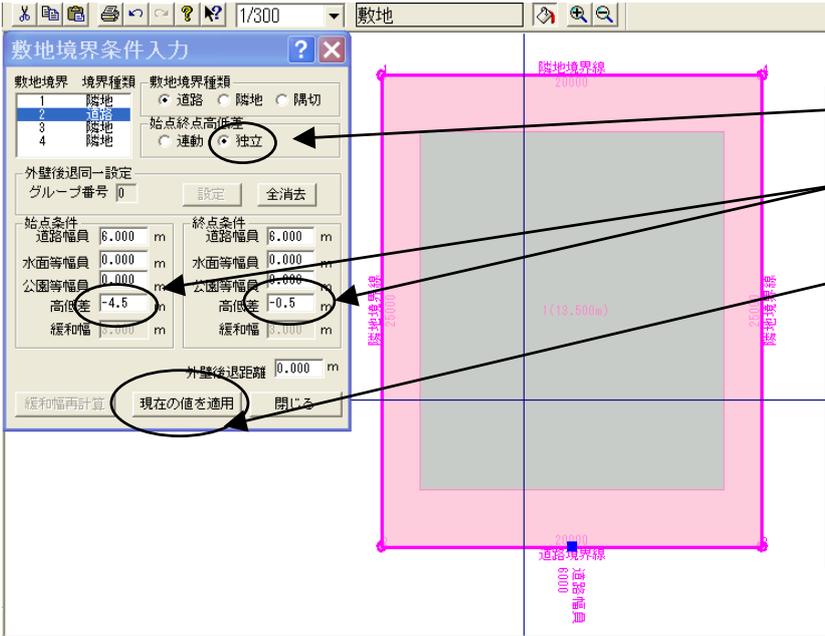
### 敷地内高低差が3m以内の場合



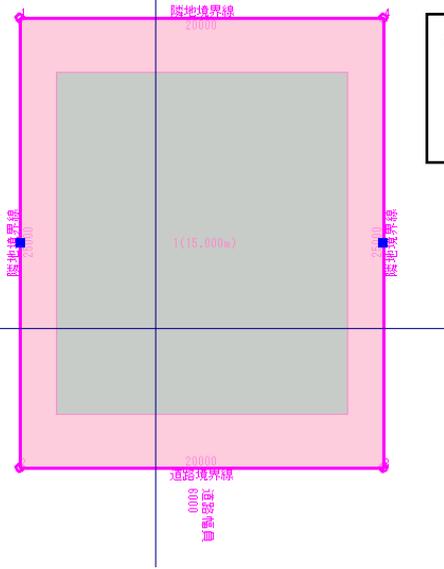
### 各境界線および建物の高さの基本的考え方

平均地盤オプションを使用しない場合、敷地境界の高低差は平均地盤面を 0 m として設定し入力する必要があります。本例では高さの基準が敷地内の道路境界側を 0 m として表記されている場合で解説します。敷地境界の高低差を入力する場合、南側の道路境界では平均地盤面が 1.5m あがる為、-3m が -4.5m、1 m が -0.5m に換算します。本例では東西の隣地境界は敷地内と平均地盤面高が同一ですので高低差の入力は必要ありません。北側の隣地境界では平均地盤高の差 5.487m を入力します。隣地の場合は敷地内の平均地盤高と隣地平均地盤との差を入力します。したがって始点と終点側は常に同じ値に設定しなければなりません。道路、隣地ともに高低差が 1 m 以上ある場合 ( $h-1/2$ ) の高さ緩和処理は内部計算で自動処理されます。建物は表記の状態を入力後、建物を平均地盤高分 Z 方向に移動する方法が最も簡便に行えますのでその手法で解説します。以上の基本的な考え方を元に入力の詳細解説を行います。今回は「敷地」「建物」「簡易パス」の項で解説します。他は通常操作で処理されます。

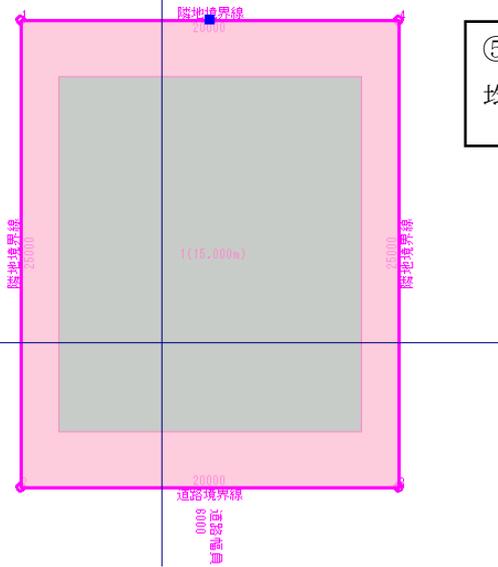
# 敷地入力



- ① 始点終点高低差を**独立**に設定します。
  - ② 道路境界を選択後平均地盤高からの高低差を始点、終点入力します。
  - ③ 現在の値を適用します。
- \* ①の始点終点条件は常に**独立**に設定し入力します。**連動**にした場合、境界が接する隣地高にも影響を与えます。**連動**は新規入力時には効果的ですが訂正時には使用しません。



- ④ 本例では東西の隣地は敷地内の高低差と同一になります。その為、高低差が 0 m になっている事を確認します。



- ⑤ 北側隣地の平均地盤と敷地内平均地盤の差を入力します。

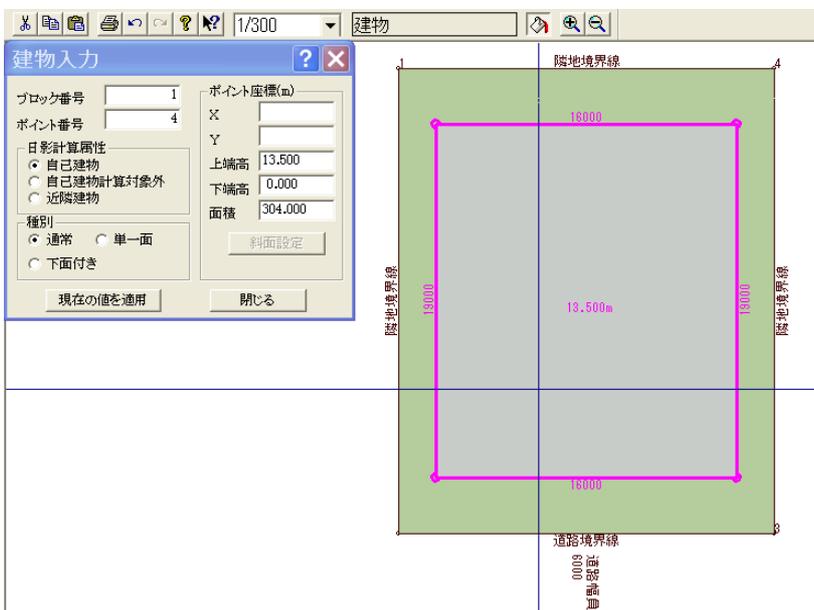
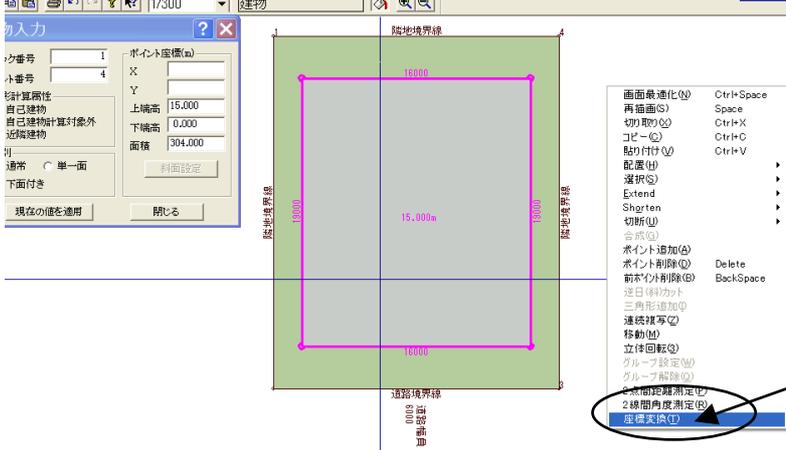
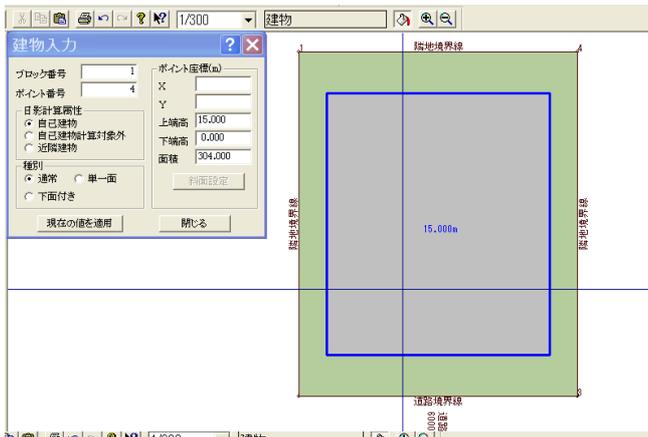
## 建物入力

① 建物は平均地盤に高さ換算した場合煩雑になります。表記高さで通常入力を行います。

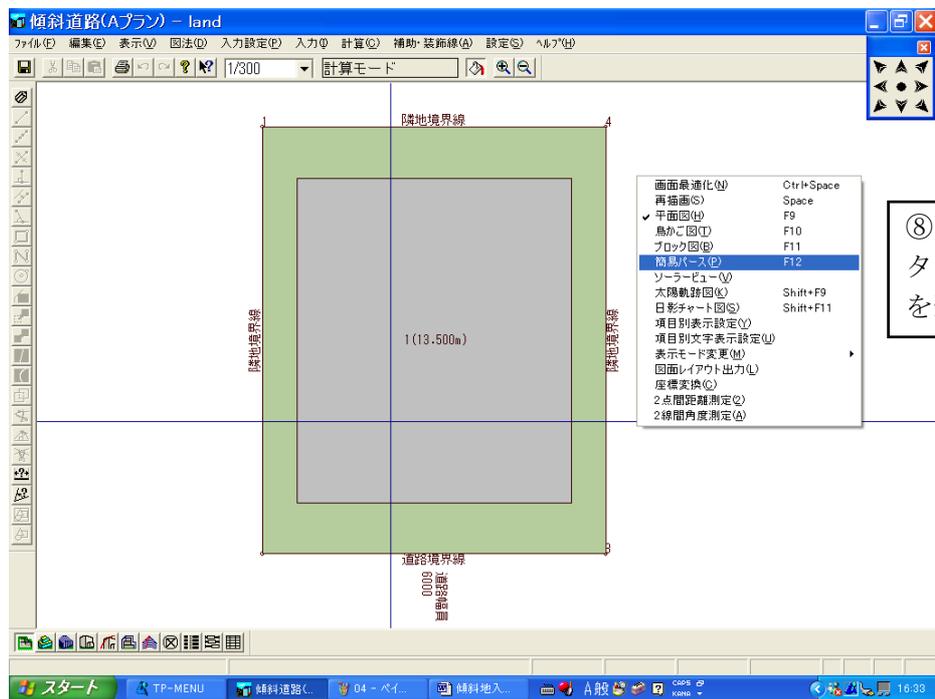
② 建物入力後、データ訂正 (矢印アイコン) にモードに移動し右ボタンメニュー「選択」「全選択」を選択し建物全体を選択します。  
③ 全建物が赤く選択されたらさらに右ボタンメニューで「座標変換」を選択します。

④ 「Z 方向距離」の枠に建物高さの基準と平均地盤の差 (本例では  $-1.5\text{m}$ ) を入力します。  
⑤ 「移動」ボタンをクリックし高さを平均地盤からの高さに変更します。  
⑥ 画面右上の X (クローズ) ボタンをクリックし終了します。  
\* この機能は建物全体を X, Y 方向に移動または回転する際に有効です。

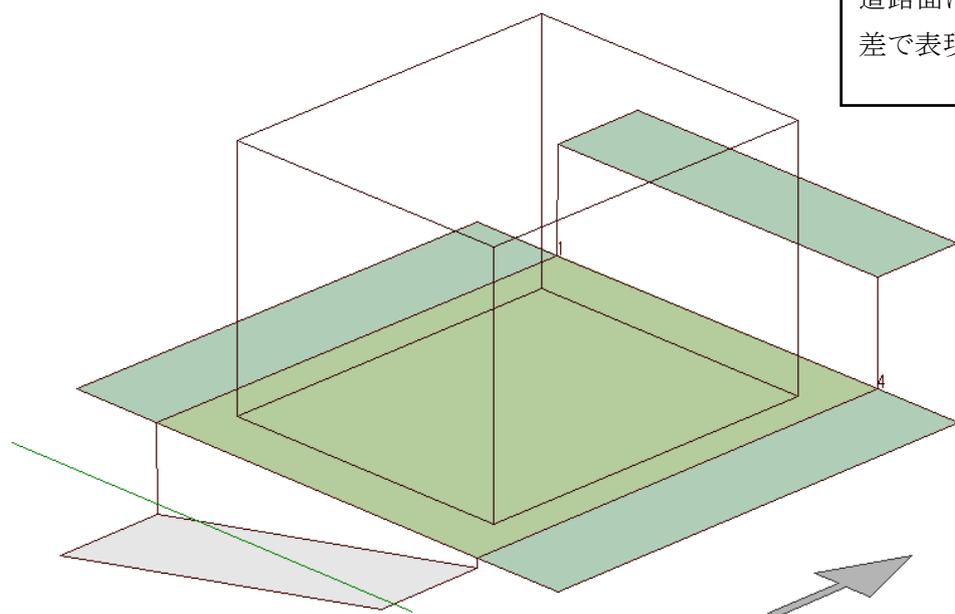
⑦ 建物高さが変更されました。



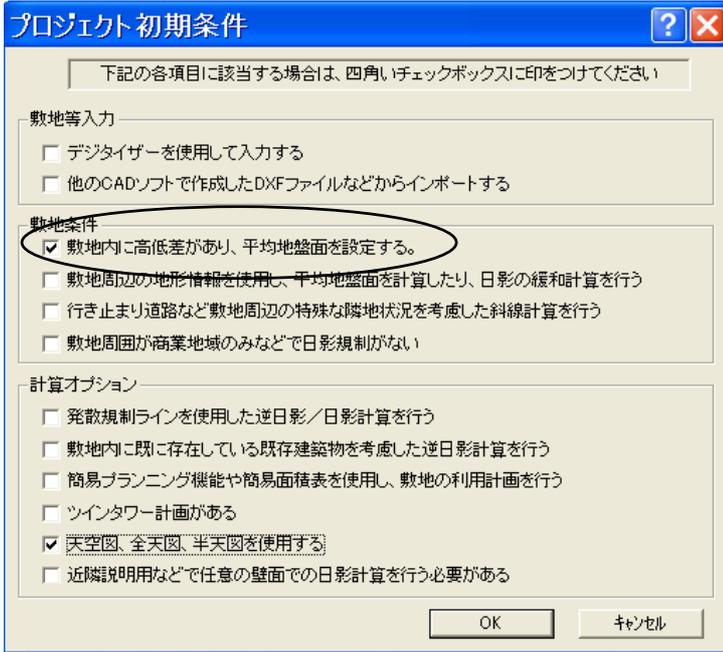
## 簡易パースによる形状確認



⑧ 「計算」モードに移動し右ボタンメニューから「簡易パース」を選択します。



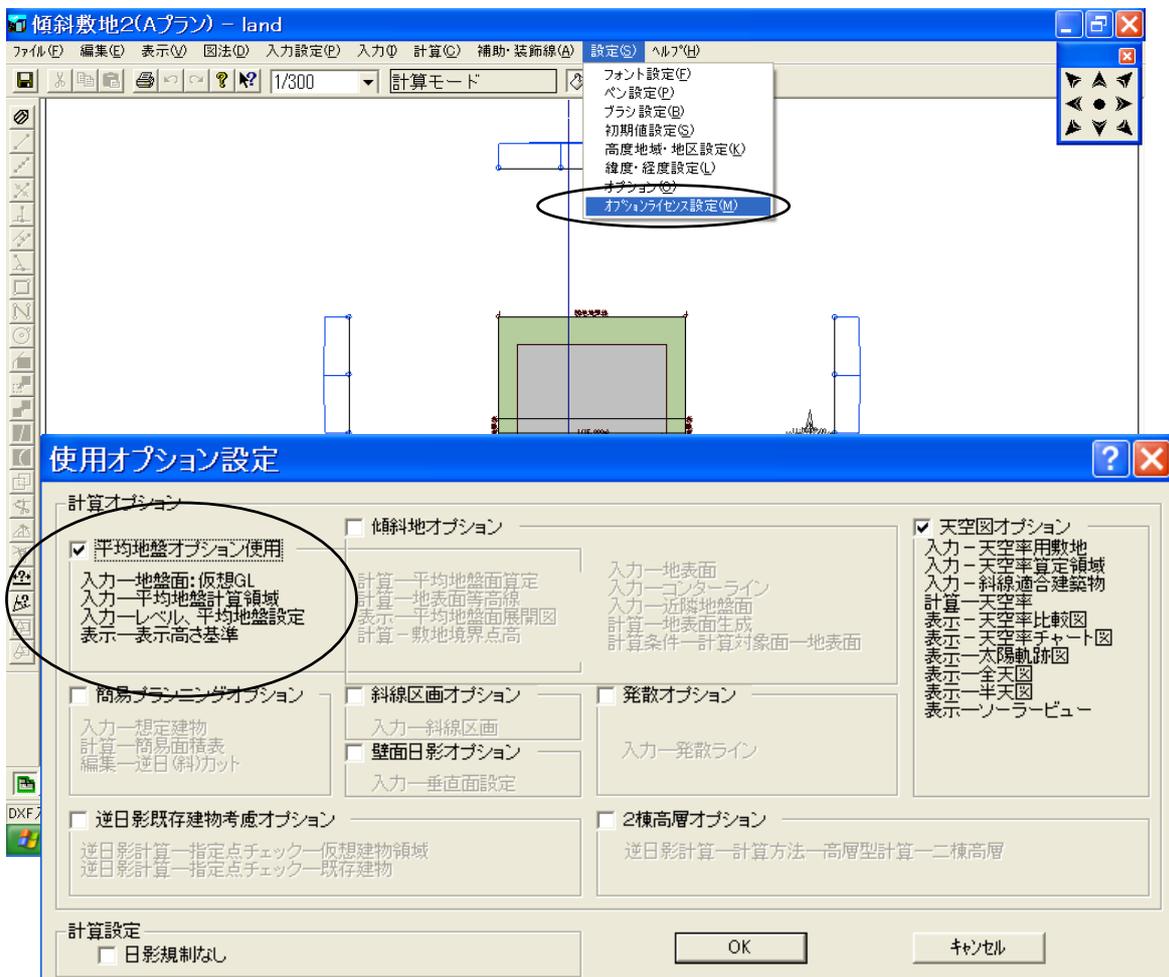




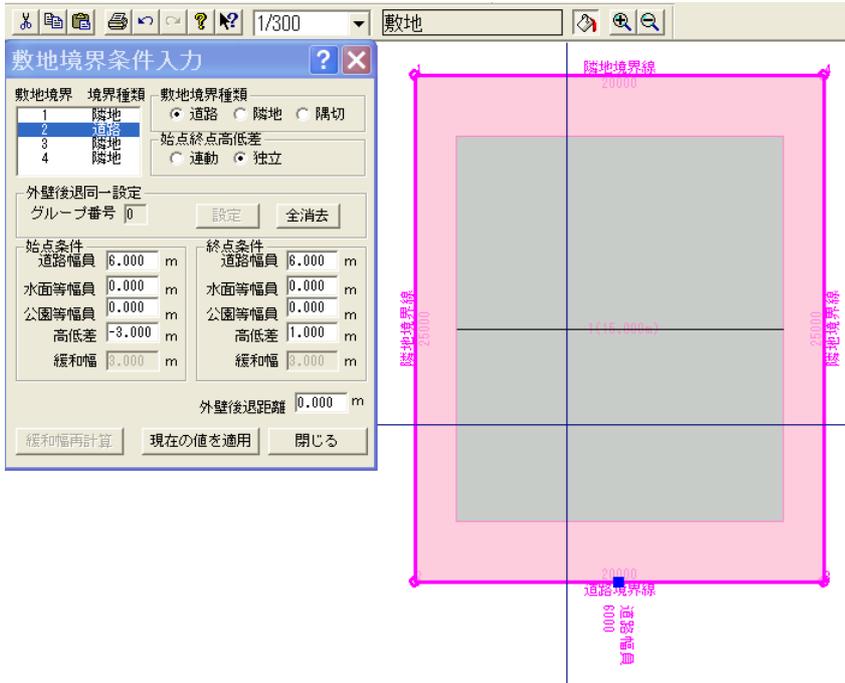
「平均地盤オプション」を使用する場合は TP-LAND を新規で起動時に「敷地条件」の「敷地内に高低差があり平均地盤を設定する。」の項目をチェックする必要があります。

\* TP-LAND 起動後またはすでに入力済みのデータに平均地盤設定を行う場合は「設定」「オプションライセンス設定」の項目から「平均地盤設定オプション」をチェックする事で可能です。

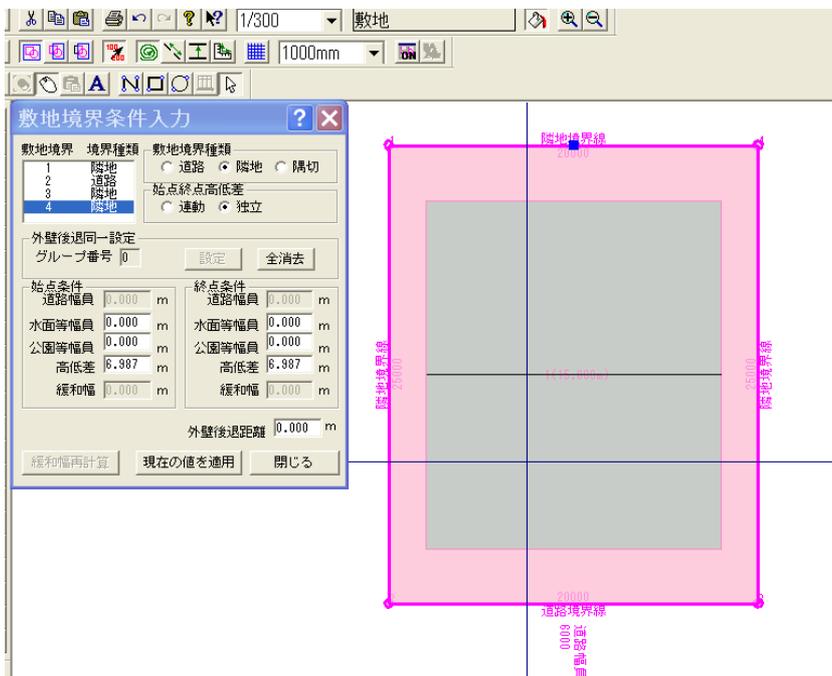
\* ただしいずれの場合でも「平均地盤オプション」がライセンス購入し設定されている必要があります。



## 敷地入力



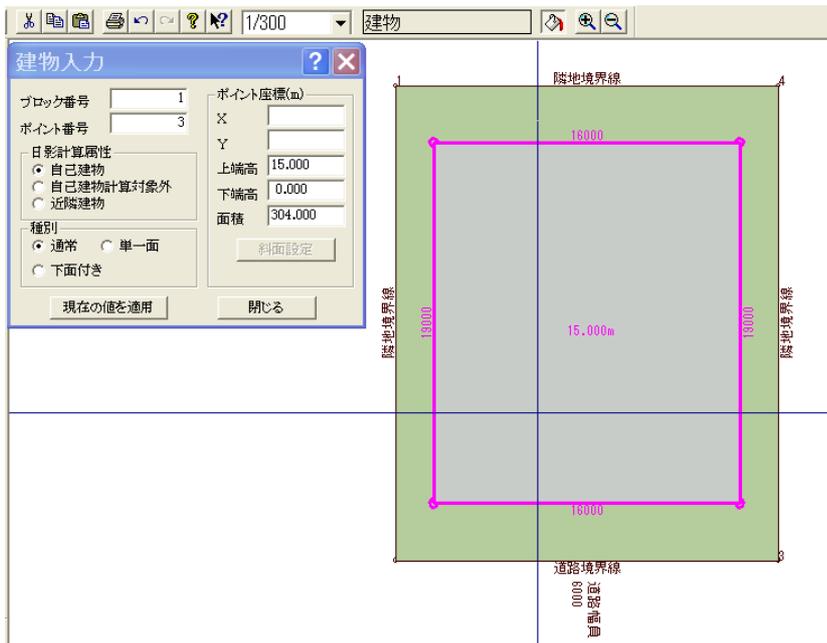
- ① 今回は地盤設定する為、道路は表記上の地盤面からの差を入力します。したがって始点側-3m、終点側1mで入力します。
- ② 本例においても東西の隣地の平均地盤高さは敷地内と同じで差がないとし高低差は0mで入力します。



- ③ 北側隣地高低差は前は平均地盤の差を入力しましたが、この場合基準の地盤からの高さを直接入力します。6.987mを設定します。

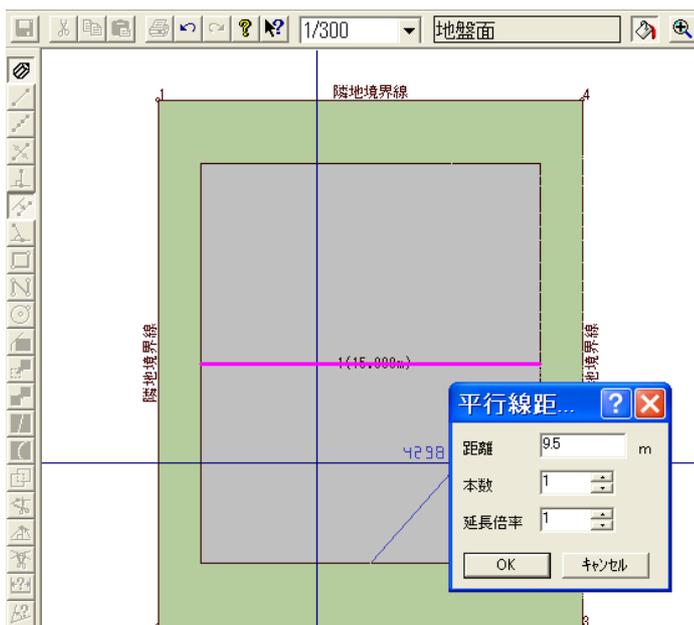
\* 平均地盤オプションを使用する場合は基準の位置からの高さ（表記上の）を直接入力します。

## 建物入力



④ 建物入力もやはり基準面から表記上の高さを直接入力します。

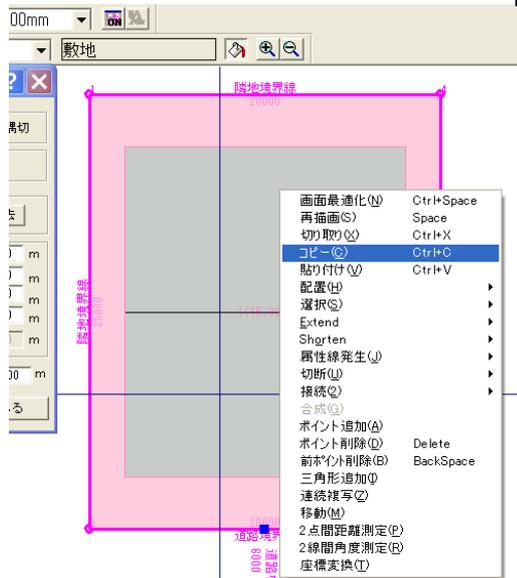
地盤面を分断する線分を作図します。



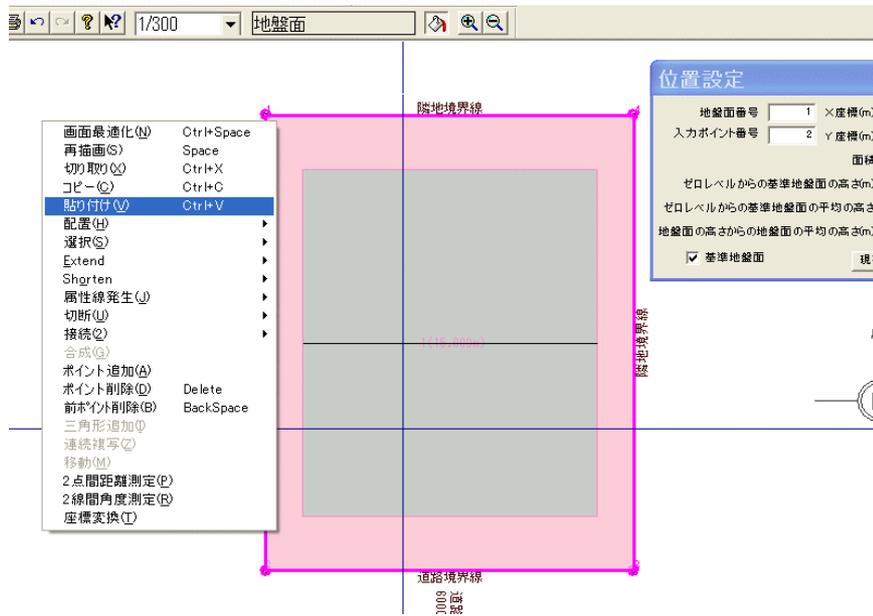
⑤ 補助線モードで行ます。平行線を選択します。

⑥ この場合建物の位置から 9.5m の位置で切断するため距離 9.5m を指示し「OK」ボタンで作図します。

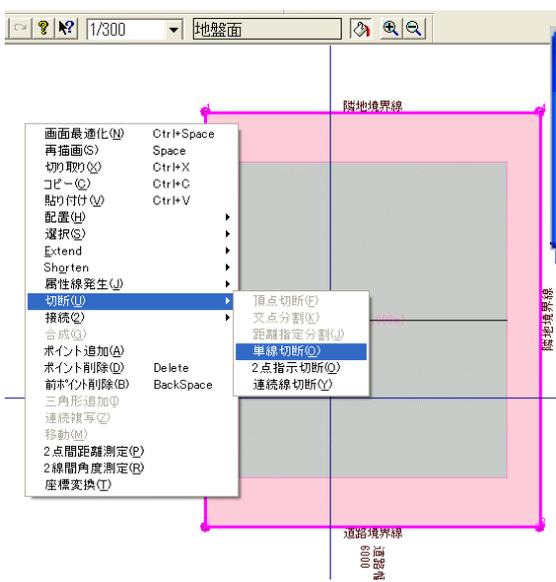
敷地をコピーし「地盤面」に貼り付け後、前項で作図した地盤を分断する線分で切断します。



⑦「敷地」の項目で訂正モードで敷地を選択後右ボタンメニューから「コピー」を選択します。

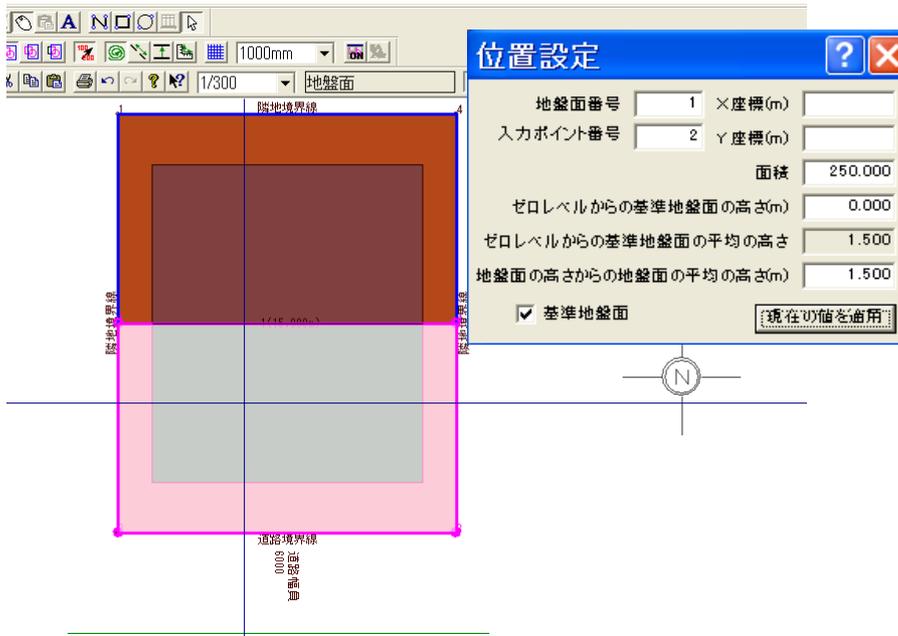


⑧「逆斜線拡張データ」「地盤面」で地盤面入力項目に移動後「貼り付け」を選択し敷地でコピーした形状を貼り付けます。(直接クリックし入力でも可です。)



⑨データ訂正モードに切り替え、地盤が赤く選択されている事を確認後、右ボタンメニューから「切断」「単線切断」を選択し前項で作図した切断の線分をクリックし「地盤」を2面設定します。

地盤面にそれぞれ基準地盤面からの高さおよび平均の高さを設定します。



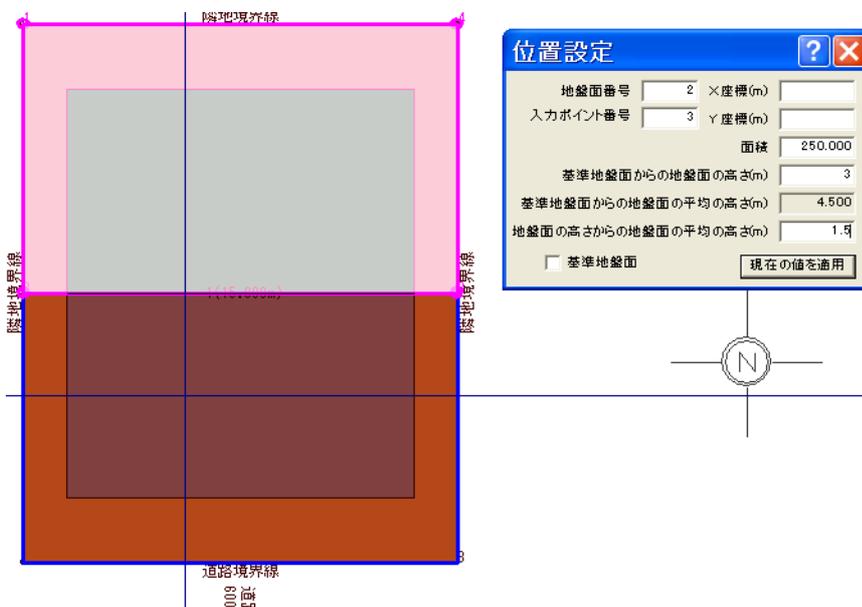
⑩基準地盤面に設定したい地盤（通常 0m 面を基準にします。）をクリックし選択します。

⑪ 「基準地盤面」をチェックします。

⑫ 「基準地盤面からの地盤面の高さが 0 m になっている事を確認します。

⑬地盤面の高さからの地盤面平均の高さを 1.5m に設定します。

⑭「現在の値を適用」をクリックし設定を確定します。



⑮北側の地盤面をクリックし選択します。

⑯「基準地盤面からの地盤面の高さを 3 m に設定入力します。

⑰地盤面の高さからの地盤面平均の高さを 1.5m に設定します。

⑱「現在の値を適用」をクリックし設定を確定します。

### 項目別表示設定

ファイル(F)

メイングループ

<input checked="" type="checkbox"/> 建物	<input checked="" type="checkbox"/> みなし境界	<input type="checkbox"/> 地表面	<input type="checkbox"/> 計算条件
<input checked="" type="checkbox"/> 敷地	<input checked="" type="checkbox"/> 規制5m	<input type="checkbox"/> コンターライン	<input checked="" type="checkbox"/> 方位
<input checked="" type="checkbox"/> 属性線	<input checked="" type="checkbox"/> 規制10m	<input type="checkbox"/> 近隣地盤面	<input checked="" type="checkbox"/> 原点、軸
<input checked="" type="checkbox"/> 用途地域	<input checked="" type="checkbox"/> 発散規制	<input type="checkbox"/> 平均地盤計算領域	<input checked="" type="checkbox"/> 計算枠
<input type="checkbox"/> 地表面等高線	<input checked="" type="checkbox"/> 補助・装飾線	<input type="checkbox"/> 道路領域	

逆日影グループ

<input checked="" type="checkbox"/> 仮想建物領域	<input type="checkbox"/> メッシュ	<input checked="" type="checkbox"/> 等高線
<input checked="" type="checkbox"/> 地盤面	<input type="checkbox"/> 規制ポイント	<input type="checkbox"/> 面積表
<input type="checkbox"/> 斜線区画	<input type="checkbox"/> ブロック図	

等時間グループ

<input type="checkbox"/> 等時間線
<input type="checkbox"/> 計算枠
<input type="checkbox"/> 時間点

指定点グループ

<input type="checkbox"/> チャート	<input type="checkbox"/> 指定点ポイント
<input type="checkbox"/> 計算結果	<input type="checkbox"/> 太陽軌跡

時刻日影グループ

<input type="checkbox"/> 時刻日影線
<input type="checkbox"/> 倍率表

天空率グループ

<input checked="" type="checkbox"/> 算定範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 天空率ポイント
<input checked="" type="checkbox"/> 天空率用敷地	

作業別設定    OK    キャンセル

⑱前回と同様に入力データを「簡易パース」で確認しますが「地盤面」は表示の初期設定では ON になっていません。「表示」「項目別表示設定」で「逆日影グループ」「地盤面」をチェックします。

⑳前回同様右ボタンメニューから簡易パースを表示します。

